



十小だより

令和6年1月31日
第10号
府中市立府中第十小学校

読書表彰状 ここまで122枚発行

校長 草刈 あずさ

寒さの中でも、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。1月の道徳授業地区公開講座には、多くの保護者やスクールコミュニティ協議会の皆さまに参観していただき、ありがとうございました。今回はPTAの組織としての参加はお願いせずに、授業後の懇談会を開催しましたが、50名を超える参加者により、子どもたちの育ちと家庭でのルールについて、語り合う機会となりました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

さて、少し前になりますが、通勤の電車の広告動画を見て、「なるほど」と思ったことがありました。それは、自分の学びや成長のために、他の人の時間を使うという発想です。確かに、自分で体験することは大切ですが、専門の人が作ったシステムを使ったり、自分にはできないような体験談を聞いたり、作家などが時間をかけて執筆した本を読んだりして学ぶことは、短時間でも多くの労力を費やしたものを活用させてもらえて、効率的です。今は、TVのドキュメンタリーや報道番組、討論番組などよりも、インターネットで動画を気軽に楽しむ人が多いようですが、私は、やはり内容のあるものや熱を入れて作ったものが個人的には好みです。

このように様々な情報源や嗜好がある中ではありますが、読書は子どもたちに薦めていきたいと思えます。文章などを読んで理解したり、イメージをもったり、意見をもったりすることは、これからの社会でも必要となる力です。本校では、年間を通して、読書の取組をしています。低学年は100冊、中学年は2000ページ、高学年は3000ページを読むと、表彰状を渡すようにしています。1月末現在で、低学年で60枚、中学年で43枚、高学年で19枚の表彰状を既に子どもたちに渡しています。読書時間や読書量には個人差があり、習慣化しないとなかなか本に向かうことができないと思えますが、寒さの中で、外出したくない日も多くなる2月は、ご家族で読書に取り組まれてはいかがでしょうか。

※参考数値 令和5年度全国学力学習状況調査の意識調査（現6年）

○「読書は好きですか」への肯定的な回答の割合

府中第十小学校（76.8%） 東京都（72%） 全国（71.8%）

○「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に対して、10分以下との回答の割合

府中第十小学校（31.6%） 東京都（35.5%） 全国（39.9%）